

# 不退転

第 46 号  
東江中学校  
校長 神元 勉

## 桜の花ほころぶ



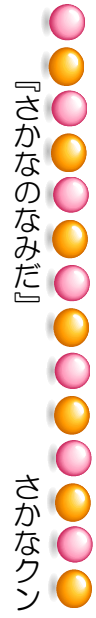
最近さいじんは、随分ずいぶんと肌寒はださむくなり、幸地川沿いの桜並木さくらなみぎの桜の花もほころびはじめました。光文字「支」も点灯し、いよいよ、さくら祭りの季節が近づいてきました。

## さかなのなみだ



タレントで東京海洋大学名誉博士のさかなクンが、12月18日放送のTBS「中居正広のキンスマスベシタル」に出演した番組を見ました。さかなクンの生い立ちや人柄が気になり、ネッ

トで調べて出会ったのが、さかなクン著『さかなのなみだ』(二見書房)です。



『さかなのなみだ』 さかなクン  
さかなの世界にもいじめがある。小さな学校のなかにも。せまい社会のなかにも。

中学一年生のとき、吹奏楽部で一緒だった友人に、だれも口をきかなくなったときがありました。いばっていた先輩が、三年生になったとたん、急に無視されてたこともありました。突然のことで、ほくにはわけがわかりませんでした。

でも、さかなの世界と似ていました。たとえば、メジナというさかなは、海のなかで仲良く群れて泳いでいます。せまい水槽すいそうに入れたら、一匹を仲間はずれにして攻撃し始めたのです。ケガをしてかわいそうで、そのさかなを別の水槽すいそうに入れました。すると、残ったメジナは、他の一匹をいじめ始めました。助け出しても、また次のいじめられっ子が出てきます。いじめっ子を水槽すいそうから出しても、新たないじめっ子があらわれます。

広い海のなかなら、こんなことはないのに、小さな世界に閉じこめると、なぜかいじめが始まるのです。同じ場所にすみ、同じエサを食べる、同じ種類しゅるいの同士です。

中学時代のいじめも、小さな部活動ぶくわつでおきました。ほくは、いじめの子たちに「なんで？」ときけませんでした。でも、仲間はすれにされた子とよくさかなつりに行きました。

学校から離れて海岸で一緒に糸をたれているだけで、その子はほっとした表情になっていました。話をきいてあげたり、励ましたりできなかつたけど、

だれかが隣となりにいるだけで、安心できたのかもしれない。

ほくは、変わりものですが、大自然のなか、大好きなさかなに夢中むちゆうになっていたら、いやなことも忘れそうです。

大切な友達ができる時期、小さなカゴのなかでだれかをいじめたり、悩んでいたりしても、楽しい思い出は残りません。外そとには楽しいことがたくさんあるのに、もったいないですよ。

広い空の下、広い海へ出てみましょう。

## 朝のあいさつ運動

朝の正門前、玄関前での「あいさつ運動」のお陰で、気持ちよくさわやかな一日をスタートできます。



3年1組保護者



生徒会執行部